



# 川村学園女子大学ニュース

---

---

No.2016-8

2016年7月18日

報道機関各位

川村学園女子大学 国際英語学科

## 川村英文学会 第23回大会 特別講演について

---

このたび、平成28年9月17日（土）に川村英文学会第23回大会を開催する運びとなりました。

今回の川村英文学会特別講演は、二松學舎大学の瀧田浩教授をお招きし、「志賀直哉と武者小路実篤の我孫子時代」について講演していただくこととなりました。白樺派を代表する二人の作家が我孫子で得たものについて考えます。

### <川村英文学会 特別講演>

日 時：平成28年9月17日（土） 13:00～14:00（受付12:30開始）

場 所：川村学園女子大学 我孫子キャンパス 14号館大教室

講 師：瀧田 浩 教授（二松學舎大学 文学部 国文学科）

演 題：「志賀直哉と武者小路実篤の我孫子時代」

申込み：不要、参加費無料

多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

この件に関するお問い合わせは、国際英語学科（川村英文学会 事務局）  
担当 倉林・阿部 電話 04-7183-7212 までご連絡ください。

---

---

---

# 川村英文学会 特別講演

瀧田 浩 教授 (二松學舎大学 文学部 国文学科)

## 「志賀直哉と武者小路実篤の我孫子時代」

日時：平成 28 年 9 月 17 日(土) 13:00~14:00 (受付 12:30 開始)

場所：川村学園女子大学 我孫子キャンパス 14 号館大教室

東京で育った志賀直哉と武者小路実篤は、新しい文化をたっぷり吸収して、みずからの感性や思想を磨き、作家生活を始めました。三十代になり、結婚した彼らは生活の場を田園に求め、我孫子に暮らします。あまり知られていませんが、代表作をいくつも書き上げた志賀にとっても、新しき村の創設を決断した武者小路にとっても、我孫子在住時期は成熟と実りの時代でした。白樺派を代表する二人の作家が我孫子で得たものについて考えます。

### 【瀧田 浩 教授 プロフィール】

二松學舎大学教授 (文学部 国文学科)、専門分野は日本近代史、文化研究。主な活動は、新しい視点から武者小路実篤を中心とした白樺派の文学を研究。現在は高度経済成長期のサブカルチャーをめぐる研究も行っている。主な研究活動として、著書には『高度成長期クロナクル』がある。

### 【お問い合わせ】

川村学園女子大学 我孫子キャンパス  
国際英語学科 学生研究室  
(川村英文学会 事務局)

TEL/FAX : 04-7183-7212

<https://www.kgwu.ac.jp/>

※無料。申込不要です。

